

文教厚生常任委員会

視察 佐賀県大町町 熊本県山鹿市

10月30日～31日 橋口正人

大町町立小中一貫校

大町ひじり学園 校長 松尾 宏

大町町立小中一貫校



1・「知」毎日の授業を大切に
して学力向上を図る(ICT利活用、
学びあい活動)

2・「徳」相手や周りの事を考
えて「当たり前のことをア塗前
にできる」ようにする

3・「体」めあてをもって運動
に取り組む

委員の質問

Q 昨年義務教育学校になって
一番変わったと思うことは。

A 先生方の考えが、一つの学
校としてとらえるようになった。

Q 1年生から9年生までいて、
いじめが少ないということですが
コミュニケーションはどのよ
うにとっているのか

A 5.6.7の中期ブロックの授業
時間は、5.6年生は既に50分の時
間に取り組んでいて中体連の部
活の激励会にいたり、文化祭
を同一日にいたり、又9年生
の劇を見たりしながらコミュニ
ケーション図りギャップがなく
なっているのではと思う

Q 小学校・中学校が同じ場所
にあったとしたら一貫校として
やっていけるとおもいますか。

A 26年に校舎が出来て、私が
来たわけですが、難しいと思
います。小学校は小学校。中学校
は中学校が楽なんです。

ただ一緒にやっっていこうとい
う気持ちを変えるエネルギーが
いるので、意識の改革をするこ
との難しさですね。

小中一貫教育導入への課題

- ・保護者の理解(小中一貫教育をして何
が変わるのか見えない)
- ・教師と指導主事の中が悪くなる
- ・教師の理解など。



- ・指導主事の多忙さ
- ・制服、校歌、校章、PTA、校時
運行等の決定すべき項目の多さ

山鹿市の認知症支援の取り組み
～認知症になっても安心して自分らしく
暮らせるまちづくり～

熊本県山鹿市役所
福祉部 長寿支援課 地域包括支援課係

山鹿市の概況

- ・人口 53.404人
- ・高齢者 18.707人 (高齢化率35.0%)
※うち後期高齢者 10.489人
- ・要介護認定者
3.640人(認定率19.5%)
- ・日常生活圏域 8連行
- ・地域包括支援センター 直営1箇所
- ・第6期介護保険料 月額5.610円

高齢者福祉行政サービスに対する基本的な考え方

(2つの基本方針と7つの柱)

1. 高齢者の生きがいと健康づくり

- ① 高齢者の生きがいづくり ② 健康づくり・介護予防の推進

2. 安心して暮らせるための地域づくり

- ① 住民主体の地域づくり
② 高齢者への生活支援の拡充
③ 認知症の人への支援体制の充実や権利擁護の推進
④ 医療と介護の連携による在宅療養体制の充実
⑤ 介護保険の持続可能な運営基盤づくり



答弁・平成23年度から成年後見センター(社会福祉協議)と連携を図りながら市民後見人の要請と成年後見制度の普及啓発活動、利用の体制づくりをおこなっているなど丁寧に答えて頂きました。

※ 委員の主な質疑

- ・ 成年後見人センターとしての関りは
- ・ 若年層の認知かかっている人の人数は
- ・ 第7期の介護保険制度について
- ・ 認知症サポートの予算は
- ・ 認知症サポートリーダーの位置づけと周知をどうしているか
- ・ 市民後見人はどの様な方がされているのか
- ・ 模擬訓練の様子はどんな方がどのような取り組みをしているのか

などいろいろな質問がでていました。